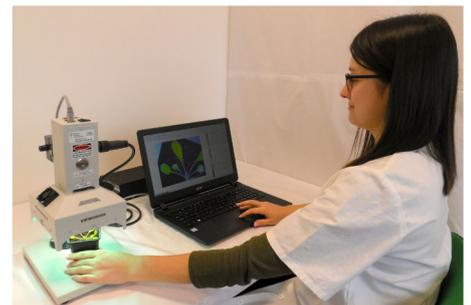


FluorCam・Fluorometersと同期接続可能な分光放射計

SM9000は、高解像度および高感度な製品で、UV/VISからNIRの範囲をファイバーで取り込み測定します。単体の機器として分光測定を行うことや分光曲線(放射、吸収、放射)の正確な分析のためにPSI社製測定器の拡張機器として使用できます。高感度と熱安定性により、FluorCamデバイスと組み合わせ、個々のセルの蛍光発光スペクトルを測定することが可能です。スペクトルは、3.5 nm(FWHM)の分解能でUV(200nm)からNIR(980 nm)の範囲を測定できます。16ビットのデータ分解能で1秒あたり最大300測定が可能です。



- 熱安定性により温度によるドリフトが僅少
- 顕微分光法に適合
- Hg-Arランプで校正されたセンサー
- 暗電流減算
- 3ミリ秒から数分までの可変露光時間
- FluorCamsおよびFluorometersとの同期接続

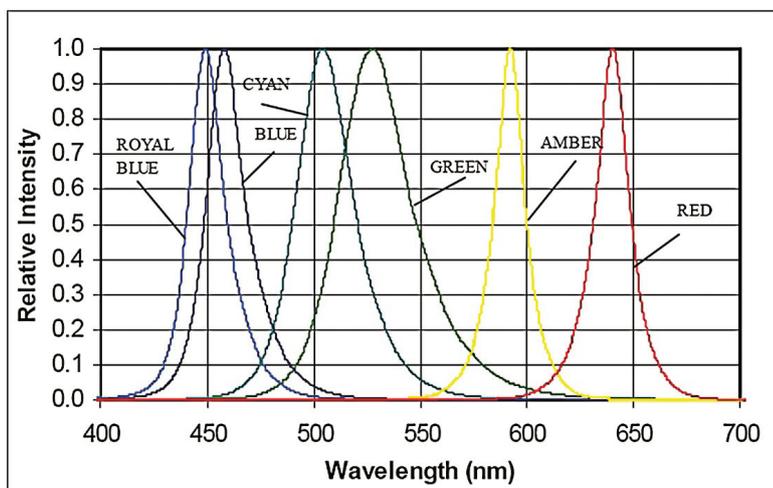


技術仕様書

高精度分光放射計システム SM9000



性能	
入光エントランス	直径0.5 NA = 0.22 SMAカップリングに装着、脱着可能
エントランススリット	70 x 1400 μm
回折格子	フラットフィールド補正
波長範囲	200 ~ 980 nm
波長精度	< 0.5 nm
波長繰返し精度	< 0.1 nm
温度-誘発ドリフト	< 0.01 nm/K
画素の分光距離	$\Delta\lambda$ 画素 \div 0.8 nm
FWHM (半値全幅)	$\Delta\lambda$ < 3 ~ 4 nm (紫外-近赤外バージョン)
迷光	0.1 % 重水素ランプを用いて340 nmで測定 (NaNO ₂ 溶液、50 g/l, 1 cmの透過率)
CCDセンサー	浜松ホトニクス製S7031
画素数	1044 x 64
画素サイズ	24 x 24 mm ²
ビット数	16ビット A/D変換
ノイズ	2~4カウント標準偏差



ソフトウェア

- 透過率/吸収率/スコープグラフ表示
- リファレンス信号の取得
- ボタンクリック/外部トリガー取得制御
- LED光源の色と強度の制御

アプリケーション

- 正確な分光放射測定
- 蛍光発光分光測定
- 分光分解蛍光誘導